

FOCUS ON
 > パーパス経営

独立系システムインテグレーターの

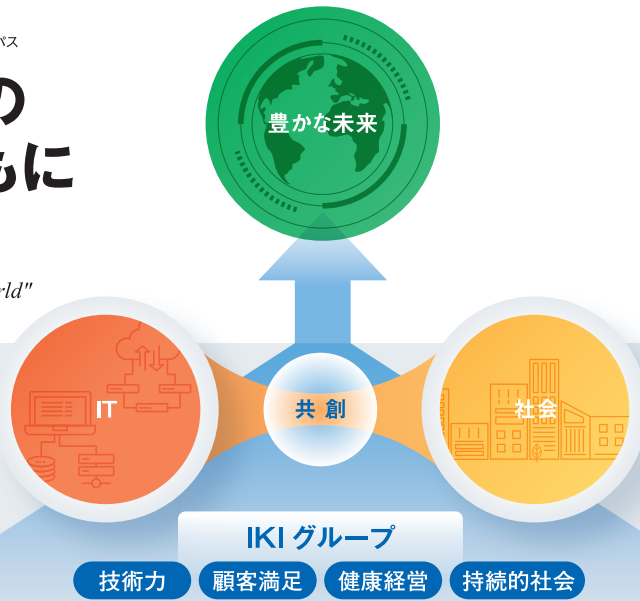
共創力・人間力・成長力

企業の存在意義を表すパーパスに則り、「共創」の姿勢で顧客価値の最大化を図るアイエックス・ナレッジ。独立系システムインテグレーターとしてシステム回りのすべてを担う伴走パートナーへの期待値が増している。

クラウドサービスや情報セキュリティへのニーズ拡大とともに、堅調に成長を続けるシステム開発業界。なかでも特定の業種や顧客に依存しない「独立系」のシステムインテグレーターが存在感を高めている。

アイエックス・ナレッジ（IKI）はその代表格だ。情報・通信、産業・サービス、金融・証券、社会・公共などと広範囲にわたり、安定した顧客基盤を持つ強みが際立つ。加えて、コンサルティングから開発、検証、保守・運用まで、システムのライフサイクルを通貫して任せられる安心感も、高い評価の背景にある。

特に運用管理や基盤構築を担うシステムマネジメントサービスへの期待値が増しているのを感じると、同社常務執行員の市川美徳氏は言う。「クラウド、ブロックチェーン、IoT、生成AIなどと技術がどんなに進歩しても、そこにシステムがある限り、お客様の手から運用管理



●アイエックス・ナレッジのグループパーパス

社会とITの未来をともにつなぐ

"Connecting people one world"

グループパーパスには「共創によりITと社会をつなぎ、豊かな未来を創造する」という想いが込められている。

の業務が消えることはありません。そのご負担を減らすため、あらゆるサービスを提供することが私たちの使命です」と話す。

具体的には、AWSやAzureによるクラウド化を含む「基盤構築」24時間365日の運用管理等を担う「マネジメントサービス」、さらに技術サポートやヘルプデスク機能を提供する「システム運用支援」の三方向でサービスを展開。運用業務の安定化・効率化を通じてシステムの安心・安全を実現する。

市川氏によれば、1999年に業界2社の経営統合で生まれたIKIは昨年で25周年を迎えたが、その源流は古く、システム運用支援の歴史は60年に及ぶという。その過程で、顧客に技術者を派遣し伴走する支援の形が「共創」の風土を育み、知識と技術とノウハウを高め合うスタイルが定着した。その先にこそ、社会の未来を照らす本当のソリューション

ンがあると考えている。

「25年の節目に制定したグループパーパス『社会とITの未来をともにつなぐ (Connecting people one world)』には、すべてのステークホルダーとともに豊かな未来を創造するという想いを込めています」

市川氏がそう言うように、顧客・社会・従業員の「三方よし」はIKIのいわば支柱であり、技術だけに偏らない、人間力を重視する企業姿勢にもそれは表れている。ビジネスと社会の止まらない成長を加速させるのは、「技術のわかる商人」（市川氏）なのである。

常務執行役員
 第1事業統括本部長

市川美徳 Yoshinori Iokikawa

